

女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」

開催日時

平成27年
9月27日(日)

13時30分～17時
(受付:13時～)

開催場所

東京大学農学部フードサイエンス棟1階
中島ホール

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

参加自由 (準備の都合上、裏面により事前にご連絡願います。)

I 趣旨説明

13:30～13:45

「いのちのふるさと海と生きる」 京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

II 講演

13:15～16:45

講演1: 三陸漁師の心意気ー赤浜ロックンロール (13時45分～14時15分)

映画監督 小西 晴子

講演2: ふるさと一国を越えた思いを探る (14時15分～14時45分)

東京経済大学コミュニケーション学部講師 松永 智子

講演3: いのちを知り生かす身心一体科学 (14時45分～15時15分)

東京農工大学工学部客員教授 跡見 順子

(休憩: 15時15分～15時30分)

講演4: 「森里川海プロジェクト」が時代を変える (15時30分～16時)

環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室室長 中尾 文子

講演5: 森の採譜ー森と生き物たちへの賛歌 (16時～16時30分)

詩人・作家 丹治 富美子

III フロアーとの対話 (質疑応答)

16:30～17:00

講演者と参加者の懇親会 17:30～19:30

※シンポジウム終了後、講演者を交えた懇親会を催します。

会費: 3,000円

場所: レストラン「アブルボア」www.abreuveoir.co.jp/

(東京大学弥生キャンパス 向ヶ岡ファカルティハウス内)

“絶滅”してしまった水辺で遊ぶ子供たち

一般社団法人 **全国日本学士会事務局**

Tel: 075(724)6500 Fax: 075(722)3002

e-mail: gakusi@poppy.ocn.ne.jp



この先に確かな未来はあるか？

40年ほど前の諫早湾奥部の泥干潟で日々遊ぶ子供たち
・・・諫早湾奥部の干拓により、失われてしまった風景

干潟は、子ども達の遊び場、自然とともに生きる知恵を学ぶ場でした。
このような水辺で遊ぶ子供たちの姿は、日本から消えてしまいました。

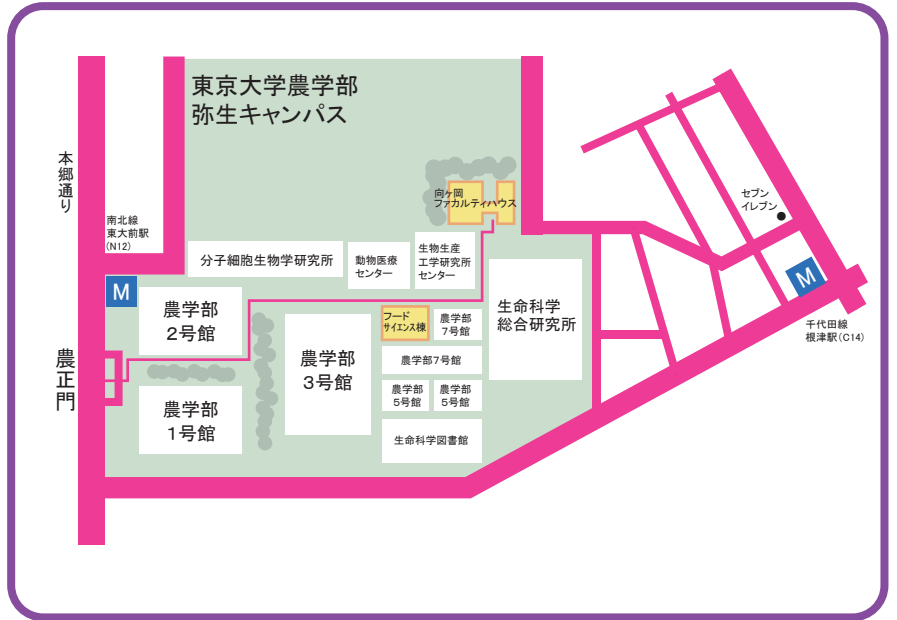
一般社団法人全国日本学士会・舞根森里海研究所共催 2015年東京シンポジウム
女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」

開催日時：平成27年9月27日(日)
 13時30分～17時(受付:13時～)

開催場所：東京大学農学部
 フードサイエンス棟1階
 中島ホール
 (東京都文京区弥生1-1-1)
 (東京大学弥生キャンパス内)

【アクセス】

東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩1分
 本郷三丁目駅(地下鉄丸ノ内線) 徒歩12分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩10分
 湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩8分



【問合せ先】

一般社団法人全国日本学士会事務局
 Tel:075(724)6500 Fax:075(722)3002
 e-mail:gakusi@poppy.ocn.ne.jp

一般社団法人全国日本学士会・舞根森里海研究所共催
2015年東京シンポジウム参加申込

氏名または団体名	
参加人数	シンポジウムへの参加 () 人 懇親会への参加 () 人

※記入いただいた個人情報、本シンポジウム以外の目的で使用することはありません。
 ※懇親会参加費の領収書は発行いたしません。

**参加
 申込**

参加申込書をご記入の上、FAXでお送りいただくか、同内容を記載したE-mailによりお申込ください。
 なお、参加申込受付票は発行しません。

FAX : 075-722-3002 (FAXの場合は、切り取らずにお送りください) E-mail : gakusi@poppy.ocn.ne.jp